

ごみ問題ってなあに
人と「もの」との付き合い方

1 ねらい

- ・ 「ごみ問題ってなあに」をきっかけに、自分なりの課題をもって調べ、発表して交流し、まとめようとして書くことを通じて、自分の生活の中での「もの」との付き合い方を見直す。

2 学習計画（15時間扱い）

	学習活動と内容	手立て・資料
1 (3)	課題を見つける。 ・ 教材文を読む。 ・ 学習のめあてをつかむ。	・ 教材文『ごみ問題ってなあに』
2 (7)	話し合うテーマを決める。 ・ 仙台市のごみ事情を調べて、問題点と解決策を考えて提案しよう。	
	調査活動を行う。 ・ 図書館や、インターネット、新聞などから資料を集める。 ・ 家族に取材する。など	・ 市の広報紙や図書資料 ・ インターネット ・ 新聞データベース
	自分の意見を発表できるように、集めた資料を読み取り、感想や意見を文章にまとめる。	・ ワークシート
3 (3)	根拠を明確にして自分の意見を発表し、意見を交換する。	・ ワークシート
4 (2)	感想をまとめる。 言語事項・漢字の学習をする。	・ ノート

3 新聞データベース活用の効果

「仙台市のごみ事情」を調べ、その解決に向けての意見をまとめるというテーマで実践した。テーマを絞り込んだため、記事の検索も「仙台市・ごみ」や「有料化」などに焦点化することができ、必要な資料を入手しやすかった。

仙台市ホームページで必要な統計資料を得、さらに新聞記事で今話題になっている情報を得ることができる。

新聞データベースは、図書資料では得られない地域の情報についての資料を簡単に集めることができ、ごみ問題を自分たちの問題としてとらえ、意見をまとめる手立てとして有効だった。

【使用した記事の例】

- ・ 仙台市・家庭ごみ処理 どうする有料化
- ・ ニュース社会科 レジ袋有料化へ
- ・ 家庭ごみ3市住民意識調査 有料化賛成 42%
- ・ 仙台市ごみ減量作戦開始

